

令和5年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

校訓「英知・至誠」に基づき、新しい時代を担う英知と、豊かな人間性・創造性・社会性を身につけ、自ら学び、自ら考え、自ら鍛錬し、それに基づいて自ら誠実に行動することができる人を育成し、地域に愛される学校をめざす

2 中期的目標

- 1 授業改善と授業力向上に取組み、「確かな学力」を身につけ、夢を実現する力を育成する教育活動
 - (1) 組織的に授業力向上と改善に取組み「主体的、対話的で深い学び」の授業を実践し、生徒の学力を向上させる。
 - ア 「学び合い、学び続ける生徒の育成」のため、全教員で「主体的、対話的で深い学び」の授業を行う
 - イ 授業満足度の向上と、わかりやすい授業のため、全教員がICTを活用した授業を積極的に取り入れる
 ※ 生徒「進路実現のための学力向上満足度」を向上させる [R02;60.2% R03;67.4% R04 ; 74.3%⇒令和7年度;80%]
 - (2) 3か年を見通した進路指導計画、生き方に関する学習機会を提供し、主体的かつ積極的に社会に参加する力を育成し、満足度の高い進路を実現する。
 ※ 生徒、保護者「進路指導に関する項目の満足度」を向上させる [R02;78.4%、75.3% R03;80.4%、69.1% R04 ; 86.2、84.8⇒令和7年度;90%、85%]
 ※ 学校紹介による就職内定率 [R02 ; 100% R03 ; 100% R04 ; 100%⇒令和7年度 100%維持]
 - (3) 講習・補習・外部模試の計画的な実施と、体系的なキャリア教育の推進により、大学進学希望者の目標・夢を実現させる。
 ※ 国公立・関関同立・産近甲龍・摂神追桃・外（関西・京都）合格者数を増加させる [R02;14人 R03;16人 R04 ; 78人⇒令和7年度;85人]
 - (4) 英語教育の充実を図るとともに、様々な検定試験を実施し、生徒のコミュニケーション能力と進路意識の向上に取り組む。
 - ア 講習、資格試験の受験指導、外部行事への参加などにより、英語教育を充実させる
 - イ 英検、漢検、数検など様々な資格試験を1年次より実施し、進路意識と自己肯定感の向上に取り組む。
 ※ 英検等の外部資格の受験者数を増加させる [英検 R02;98人 R03;150人 R04 ; 80人⇒令和7年度;150人]
- 2 自律心を高める生徒指導と地域と連携した教育活動と魅力ある特別活動に取組み、地域・保護者に信頼される学校づくり
 - (1) 自律を促す指導を粘り強く行い、生徒の規範意識を醸成するとともに、教育相談体制や生徒支援体制の満足度を向上させる。
 ※ 生徒「学校の規則を、きっちり守っている」を維持する [R02;85.5% R03;94.6% R04 ; 96.2%⇒令和7年度;高い肯定率維持]
 ※ 生徒「教育相談に関する満足度」を向上させる [R02;68.7% R03;72.1% R04 ; 87.1%⇒令和7年度;90%]
 - (2) 生徒の自己有用感を醸成し、帰属意識を高め、安心できる人間関係を構築するため特別活動（行事、部活動等）を充実させ、学校満足度を向上する。
 ※ 生徒「学校行事に積極的に参加している」を維持、向上させる [R02;79.8% R03;88.9% R04 ; 89.5%⇒令和7年度;90%]
 - (3) 保護者及び地域との連携した活動を推進するとともに、学校ホームページや学習支援クラウドサービスにより学校の情報発信を行う。
 ※ 保護者「子どもは楽しそうに学校生活を送っている」を維持する [R02;82.0% R03;79.0% R04 ; 87.3%⇒令和7年度;85%以上を維持]
 ※ 保護者「学校は家庭との意思疎通を十分に行っている」、「HPを見て情報を得ている」を向上させる [R02;73.5%、59.6% R03;78.5%、59.2% R04 ; 87.0%、58.9%⇒令和7年度 85%、65%]
 ※ 「地域との連携を推進する生徒参加の取組み」を定着させる [R02・03;コロナ禍のため実施できず R04 ; 90人⇒令和7年度;100人]
- 3 人権尊重の教育を推進するとともに、「ともに学びともに育つ」教育の実践により、すべての生徒に安全・安心な教育環境の構築
 - (1) 共生推進教室を組織的な校内体制で推進するとともに、障がいのある生徒の自立を支援する。
 - ア 共生推進教室での充実した自立活動の取組みと職場実習の実施により、生徒全員の進路実現
 - イ 障がい者理解教育研修を推進し、すべての教職員が共生推進教室の取組みに関わる
 ※ 進路実現 [R02 ; 100% R03 ; 100% R04 ; 100%⇒令和7年度 100%維持]
 - (2) 教職員の人権教育等の研修を定期的実施するとともに、生徒への人権教育を推進する。
 ※ 障がい者理解教育研修を含む教職員向け年3回の人権研修を実施し、研修への肯定率を向上させる [R02; 1回、66.0% R03; 2回、75.0% R04 ; 2回 85.4%⇒令和7年度; 3回、85%]
 ※ 生徒「人権等の学習機会がある」を向上させる [R02;74.3% R03;80.4% R04 ; 84.0%⇒令和7年度;85%]
- 4 校務の効率化と働き方改革の推進
 - (1) 学校経営計画推進に向け各組織のリーダーのマネジメント能力を向上させ、学校経営に教職員が参画するPDCAサイクルを推進する。
 ※ 教職員「学校運営に教職員の意見が反映されている」を向上させる [R02;55.6% R03;58.3% R04 ; 58.3%⇒令和7年度 65%]
 ※ 教職員「職員会議に至る各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している」を向上させる [R02;53.7% R03;52.1% R04 ; 47.9%⇒令和7年度 60%]
 - (2) 校内体制並びに業務の見直しと改善・効率化を図る。
 ※ 教職員「各分掌・学年間の連携が円滑に行われ有機的に機能している」を向上させる [R02;53.7% R03;42.8% R04 ; 50.0%⇒令和7年度 60%]
 ※ 80時間/月以上の超過勤務者を毎年前年比20%減少させる [R03 ; 18件 R04 ; 21件⇒令和7年度 11件未満]

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和5年 月実施分]	学校運営協議会からの意見
	[第1回 月 日] [第2回目 月 日] [第3回 月 日]

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R4年度値]	自己評価
1 確かな学力・夢を実現する教育活動	<p>(1) 組織的に授業力向上と改善に取組み「主体的、対話的で深い学び」の授業を実践する。</p> <p>ア 「学び合い、学び続ける生徒の育成」のため、全教員で「主体的、対話的で深い学び」の授業を行う。</p> <p>イ 授業満足度の向上と、わかりやすい授業のため、全教員でICTを活用した授業を積極的に取り入れる。</p> <p>(3) 体系的なキャリア教育の推進により、大学進学希望者の目標・夢を実現させる。</p> <p>(4) 様々な検定試験を実施し進路意識を向上させる。</p> <p>イ 英検、漢検、数検など様々な資格試験を1年次より実施し、進路意識と自己肯定感の向上に取り組む。</p>	<p>ア・各教科で探究的な活動を授業に取り入れる。</p> <p>・観点別評価を効果的に用いて授業改善を行う。</p> <p>イ 定期的な相互授業見学及びICTを活用した授業力向上の研修や研究授業を実施する。</p> <p>・「総合的な探究の時間」において進路や生き方について考える探究的な学習活動を行い、早期に、生徒の確かな進路目標決定と意識醸成に取り組む。</p> <p>・高大・専門学校連携制度を利用した授業や講座を行い、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>・3つの専門コースがめざす「確かな学力」を具現化し、学習支援ツールも活用しながら、個別最適な学びを推進する。</p> <p>イ 英語教育の推進を図るとともに、各種検定を実施し、生徒の進路意識の醸成を図る。</p>	<p>ア・探究的な活動、観点別評価に関する教員研修を年2回以上実施する。[2回]。</p> <p>・生徒「授業アンケート生徒肯定意識」を3.4以上。[3.4]</p> <p>イ・相互授業見学を年2回[2回]、1人1台端末活用等の研修を1回以上[1回]、研究授業を1回以上[未実施]実施する。</p> <p>・生徒「1人1台端末を効果的に活用している」肯定率85%以上[81.9%][新]</p> <p>・緑風冠高校の特色となる系統的な指導計画の作成と実施を図るべく「総合的な探究の時間」のフォーマットを作成する。</p> <p>・連携大学・専門学校との連携による取組みを推進し、講座・授業を実施する。5講座[1講座]</p> <p>・学力生活実態調査において、学習到達ゾーンを入学時と比較して3年時に1ランクアップさせる。その結果として以下の指標を定める。</p> <p>国公立・関関同立・産近甲龍・外(関西・京都)合格者数15人[11人] 摂神追桃合格者数70人[67人] 看護系大学合格者数8人[5人] 芸術系大学合格者数8人[5人]</p> <p>イ・英検、数検、漢検等の各種検定を実施し前年度より増とする。[118人]</p> <p>・英検の合格率を向上させる。 [2級9.5% 準2級43.2% 3級50.0%]</p>	

2 地域・保護者から信頼される学校づくり	<p>(1) 生徒の規範意識を高め、学校生活に主体的に取り組む姿勢を醸成する。</p> <p>(2) 安心できる人間関係を構築するため特別活動(行事、部活動等)を充実させ、学校満足度を向上させる。</p> <p>(3) 保護者及び地域との連携した活動を推進するとともに、学校ホームページ等により学校の情報発信の更なる充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員全員による生徒指導体制を推進する。 ・生徒会活動を推進し、地域とも連携し学校行事を更に活性化させる。 ・地域や中学校、部活動大阪モデルにおけるペアリング校と連携し、部活動指導員を有効に活用した部活動を行う。 ・保護者、地域への情報発信を充実する。 ・学校広報に生徒の活躍の場を設ける。 ・地域等のイベントへの生徒の参加機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学校の指導規則を守る項目の高い肯定率を維持する。[96.2%] ・教員への新指標として、「私はルールやマナーの指導について、違反の現場に遭遇した際は学年を問わず声かけを行い、その都度注意し指導している」を設け、肯定率70%以上をめざす。[新] ・生徒指導体制推進のための校内研修を実施する。[新] ・登校時遅刻を前年度より15%減少させる。[3056件] ・クラス活動や学校行事参加へ積極的に参加する肯定率85%以上を維持する。[89.5%] ・保護者の学校満足度85%以上を維持する。[87.3%] ・部活動加入率65%以上。[57%] ・ホームページ、ブログ等を積極的に更新し、保護者の学校情報における項目の肯定率を65%以上にする。[58.9%] ・学校説明会等に生徒を参加させ、活躍の場を提供する。5回以上〔5回〕 ・地域交流への参加生徒数90人以上とする。[中学訪問、地域連携等への参加 90人] 	
3 人権尊重の教育と、「ともに学びともに育つ」教育の実践	<p>(1) 共生推進教室生徒の自立を支援する。</p> <p>(2) 教職員の人権教育等の研修を定期的実施するとともに、生徒への人権教育を推進する。</p>	<p>ア 生徒全員の進路実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権研修(人権、教育相談、障がい者理解等)と生徒の人権教育を推進する。 ・要支援生徒について支援教育コーディネーター、教育相談委員会、担任、SC、SSWによる連携した支援を行う。 	<p>ア 共生推進教室3年生の進路実現100%の維持。[100%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象の人権研修を2回以上実施する。[2回] ・生徒の人権に関する肯定率80%以上を維持する。[84.0%] ・生徒の教育相談通信など、教育相談が身近になるように取り組み、この項目における満足度85%以上を維持する。[87.1%] 	
4 校務の効率化と働き方改革の推進	<p>(1) 各組織のリーダーのマネジメント能力を向上させ、学校経営に教職員が参画するPDCAサイクルを推進する。</p> <p>(2) 校内体制並びに業務の見直しと改善・効率化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成の外部研修等に教員を積極的に参加させる。 ・職員会議に至る各種会議を情報交換と課題検討の場として有効に機能させる。 ・新たに新分掌「情報総務部」を設け、各分掌の業務を見直し、校務分掌の再編・整備を行う。 ・ICTを活用した更なる業務の効率化を図り、管理職等による面談や声かけなどにより、時間外勤務者の削減に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成の外部研修等に2人以上の教員を参加させる。[新] ・教職員「職員会議に至る各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している」を向上させる。[47.9%][新] ・教職員「各分掌・学年間の連携が円滑に行われ有機的に機能している」を向上させる。[50.0%][新] ・80時間/月以上の超過勤務者を前年比20%減少させる。[21件] 	